

2018年3月22日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

アマゾン ウェブ サービスでのアプリケーション開発を自動化
開発の自動化環境「Ignite」を無償提供し、DevOps の普及に貢献

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、以下:CTC)は、アマゾン ウェブ サービス(以下:AWS)でのデジタルサービス開発に向けて、アプリケーションのリリースプロセスを効率化する CI/CD(Continuous Integration/Continuous Delivery)^{*1} 環境「Ignite(イグナイト)」の無償提供を本日から開始します。これは、システムの運用を行いながらサービスの追加開発や拡張を可能にする DevOps を実現した環境です。

DevOps の普及に貢献するとともに、AWS での Ignite を中心としたアプリケーション開発や DevOps のビジネスを通して3年間で10億円の売上を目指します。

近年、AI や IoT、クラウドのなどの技術が普及し、デジタルトランスフォーメーションに取り組む各企業には、さらなる成長に向けた柔軟でタイムリーな新規サービスの投入や既存サービスの柔軟な変更が求められています。新たなサービスの早期実現のため、DevOps や開発環境の実践において CI/CD といった手法が注目を集めています。

CTC が開発した CI/CD 環境 Ignite は、AWS の Code シリーズ(CodeBuild、CodePipeline、CodeCommit、CodeDeploy)を活用した AWS 上でのアプリケーションのリリース作業を自動化する無償ツールです。開発のフレームワークは Web サービスで一般的に使用される Java、Node.js、AngularJS を用意しており、ソースコードからのアプリケーションのビルド、テスト、デプロイおよびサービス提供環境のプロビジョニング(実装)という一連のリリース作業を自動化することで、アプリケーション開発やサービス提供での管理業務の効率化を実現します。

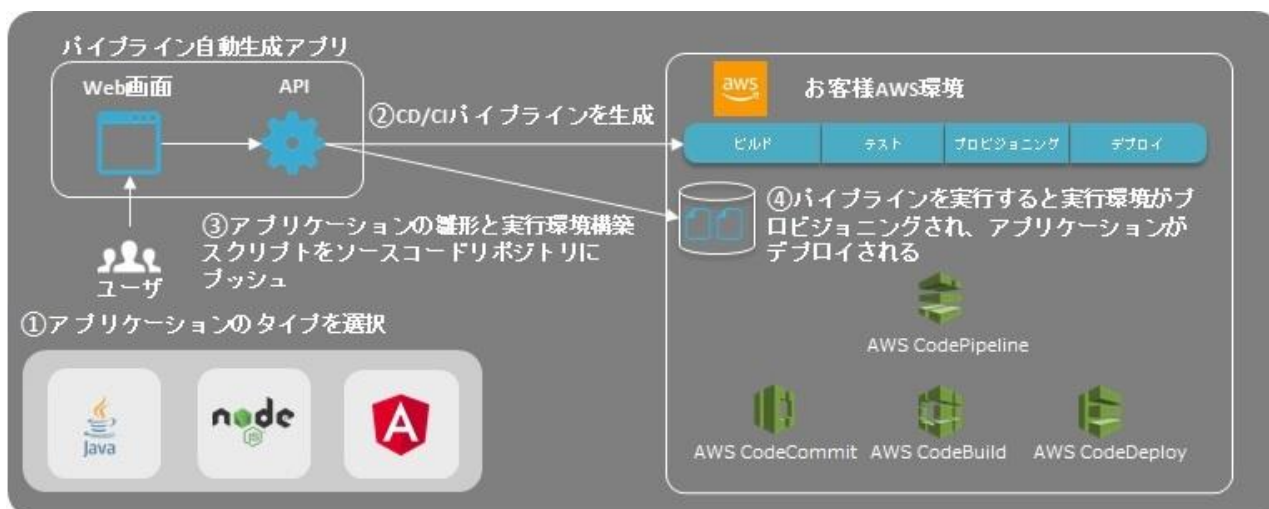
また今回の Ignite の提供に併せて DevOps 関連のサービスメニューを拡充します。DevOps の推進体制や適用範囲などの設計を支援する「DevOps コンサルティングサービス」と Ignite をベースに CI/CD 環境を構築する「CI/CD インテグレーションサービス」です。

2012年から提供しているAWS上でのシステム構築・運用サービス「cloudage CUVIC on AWS」とともに、AWSを活用した企業のDevOps環境の構築をトータルで支援していきます。

<Ignite 説明 Web サイト>

<https://www.ignite.ci/>

<Ignite の動作イメージ>



本リリースに関連して以下のコメントをいただいています。

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社は CTC による Ignite の提供開始を歓迎致します。

クラウドは、迅速な IT リソースの調達と IT インフラの保守運用作業からの解放をもたらし、お客様が、より企業戦略に基づいたアプリケーションの開発に専念する事を可能にします。

Ignite が、DevOps および CI/CD といった開発手法の導入を促進する事で、お客様の AWS 上のアプリケーション開発の効率化・高速化の実現に寄与していくものと期待しております。

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社
パートナーアライアンス本部 本部長 今野 芳弘

*1 CI/CD(継続的インテグレーション/継続的デリバリ)について:ソースコードからの生成(ビルド)やテストを継続的に且つ頻繁に行いアプリケーション開発の品質を向上させる手法。単一の場所にソースコードを置き、コードからアプリケーションの生成、テスト、結合などを自動化することで実現できる。

※ アマゾン ウェブ サービス、AWS、AWS CodeBuild、AWS CodeCommit、AWS CodeDeploy、AWS CodePipeline は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

※ 記載されている商品名などのその他の固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp